

たんぽぽだより



難しい時代を迎える予感

だからこそ

理事長 荻部 一夫

まだまだコロナ感染への油断は禁物ですが、社会が少しずつ元に戻る兆しが見えてきたことは大変嬉しく思います。しかし、最近のニュースをみると今後の日本は難しい時代を迎える予感がします。

昨年末は、消費者物価指数が四十一年ぶりに4%もあがったそうです。龍鳳でも特に光熱費（電気・ガス）が昨年に比で数百万円増加し、給食費やガソリン代、業務委託費などほぼすべての価格が値上がりしており財務収支がかつてない厳しい状況です。次年度の予算を立てる上でも、単純計算で昨年までの運営経費に4%を上乗せする必要があります。さらに、就労支援での自主製作品は材料費値上がり分を価格転嫁することは容易でなく、工賃が下がることも想定しなければなりません。

また一方で、社会全体では賃上げを実現しようとする機運が高まっています。賃上げには大いに賛成です。ただ、その財源は簡単に増えるわけではありません。国や地方自治体も補助制度を検討していますが、現状を解決できる額に届くものではありません。龍鳳では、IT化を進め、無駄を省き節約を継続する等の自助努力を重ねており、職員の賃上げに結びつく制度が一刻も早く整備されることを願っています。

当然のことながら、どのような状況であろうとも、龍鳳はご利用者の方々への安定したサービス提供を守りぬきます。そのためには、職員が健康で働きやすい職場にしておくことが何より重要です。

龍鳳では令和四年度より「健康経営」というワードを使って職員の健康を守り増進する取り組みをスタートしています。今までは、健康を守るのは個人の責任であるという考えが一般的であったと思いますが、「健康経営」とは働く人の健康づくりに法人全体で取り組んでいくという考え方です。

初年度は、「心の健康づくり計画」を作成し、職員からの相談対応、ストレスチェックの実施、受講研修情報のフィードバックなどを行ってきました。また、「心の健康づくり」をより意識できるように定期的に情報発信してきました。その結果、職員の日常会話の中にも、「ウォーキング」や「健康食品」の話題が多くなり、「健康づくり」への意識が高まってきているように感じています。

次年度（令和五年度）は、特に心の健康ケアでは「ラインケア」を重視します。その実施にあたっては、「ライン」すなわち部長・課長等が職員の状況に心を配り、相談にのる等、日常の業務の中でケアをすることを重視して、組織風土の醸成一層すすめていきます。

こうした取り組みをするには、法人職員全てが協力して体制を作っていくことが重要です。そこで龍鳳では次年度「健康経営優良法人2023」へのチャレンジも検討しています。さらに、健康診断（受診率100%）やストレスチェックもより充実させ、職場環境の改善に繋げていきます。このため、各施設に「健康経営」担当者を配置して連携して、現場と本部が一体となって健康経営を推進していく所存です。

4月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15 開所日
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29 昭和の日

ご寄附をいただきました

令和5年2月15日、全国PHP友の会・PHP思いやり運動様を通じて、寄附金5万円を頂きました。当日はコロナ感染対策をしながら、ご利用者の方にご協力いただき、玄関先での贈呈式を行うことができました。
たんぽぽの活動の中で、大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



自主製品を発信しています

Instagramのご紹介

スマートフォンのカメラアプリを立ち上げ、右のQRコードにカメラを向けると、URLが認識され、タップをする
と、WEBサイトにアクセスできます。



皆様のアクセス
お待ちしております！

1年を振り返って(就労継続課)

就労継続課では平均工賃1万円を目指して1年間取り組んでまいりました。

特に自主生産品に力を入れて取り組んできました。今までは職員が携わる比重が多かった面もありますが、分かりやすく工程を分け、ご利用者にも得意な部分を生かして取り組んでいただけようになりました。また、自主生産品に使われる絵についても、たくさんのご利用者に描いていただき、自分の絵が製品になったという嬉しさを感じていただけたと思います。今年度は「ねりいち」といった区内の販売会だけでなく販路拡大として福祉のマルシェ・チャレスポ・ナイスハートバザールといった外部の商業施設などで主催される販売会にも参加しました。売り場でのお客様の反応やSNSでの投稿からもお客様から好評の声をたくさんいただきました。

受注作業では約4年ぶりに干支根付作業にも取り組みました。作業を分かりやすく分けることによって一人でも多くのご利用者が関わり、利用者の皆様もやりがいを持って取り組むことが出来たのではないかと思います。その他にも中古ゲーム機の清掃、部品取替、動作確認、発送準備、封入作業など幅広い作業に取り組んでいくことが出来ました。

今まで作業に取り組むことが難しかった方も出来る範囲からチャレンジしていただき、自主生産品の制作や室内作業に取り組むことが出来るようになったご利用者もいました。

このような利用者の皆様や職員の取り組みの成果として、今年の平均工賃1万円は達成することが出来そうです。

来年度もご利用者一人ひとりがやりがいを持って取り組めるように支援や作業を提供していければと思います。





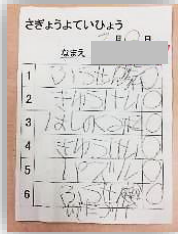
たくさん頑張りました



～生活介護～

早いものでまた桜の季節が巡ってきました。11名の利用者さんとともに新年度を迎え、入れ替わりもなく同じメンバーの中で落ち着いた日々を過ごすことが出来ました。夏には猛威を振るった新型コロナウイルス、生活介護でもたくさんの方が感染し、がらんとした部屋で少人数で活動したのが遠い昔のように感じられます。年度初めのたんぼぼだよりで触れた農園の植物たちですが、きゅうりとえだまめはなかなかの豊作でみんなで美味しくいただきました。ひまわりは青空に向かってどんどん伸び、茎も直径3cm位にまで成長し大輪の花を咲かせました。

さて、生活介護の皆さんはどうだったでしょう？ もちろん、きゅうりやひまわりに負けることなくたくさん頑張って、大きく成長しました。一人一人で、そしてみんな一緒に「できた！」と思った瞬間の記録をご紹介します。



自立課題を行う際の作業予定表です。「ふうせん・きゅうけい・はしのくみだて・きゅうけい・パズル・ふうせん・かたづけ」びっしり記入し、終わった項目にはしっかり〇がついています。今日もたくさん頑張りました！



調理の担当表です。準備の担当に加えて食材の担当も決めました。レタスをちぎったり、かにかまぼこをさいたり、ハムを切ったり...餃子・ハンバーグ・春巻き作りはみんなで練習しました！



朝学習のプリント学習に使ったご褒美シートです。毎日しっかり学習し、こんなにたくさんシールを貼ることが出来ました。そして、もうシールがなくても取り組めるようになりました！



全員が何らかの工程で風船作業に携われるようになりました。10束できたら風船シートを貼り、帰りの会でその日の成果を確認します。「今日は70束できました！」「わ～い！」「すご～い！」「頑張ったね～！」みんなの明るい声が響きます。



ウォーキングから帰ったらシールを貼ります。10月にたんぼぼを出発し、ディズニーランド・富士山と旅し、現在は富士サファリパークに向かっています。サファリパークに到着したら、みんなで次の目的地を決めます。



最後にまた集合写真を1枚

カメラに向かってみんな一緒にこんなに豊かな表情を見せてくれるようになりました！